

JTS

ジュエルシルバーに抗ウイルス効果を確認  
「COVID-19」の不活化効果も近日中に結果

化粧品・医薬部外品原料の開発・販売を行っているJTS(本社：大阪)はこのほど、安定型銀イオン水「JEWEL SILVER(ジュエルシルバー)」に、豚感染性のコロナウイルスに対して効果があることを確認した。今後、北里大学にて、新型コロナウイルス(COVID-19)に対する不活化効果検証を行う。岩ヶ瀬社長は「COVID-19においても顕著な結果が得られことを期待している」と話す。

2019年12月、中国



岩ヶ瀬社長

全世界の感染者数は3800万人以上、死者数は約100万人にのぼる。日本国内の感染者数も9万人以上、死者数も1000名以上となっている。その感染予防・対策として、消毒・除菌関連製品はコロナ感染拡大とともに需要が急拡大し、一時期は品薄状況となった。感染拡大が落ち着きを取り戻す中で供給は安定してきたが、その一方

で、目的に合った製品の選択や正しい使用方法がわからないといった新たな問題も生じている。今後は、そうした生活者不安を解消するため、たしかにウイルス除去効果を持った消毒・除菌関連製品が求められてくる。COVID-19は、エンベロープ(ウイルス表面の脂質性の膜)上にコロナ(王冠)のようなノロウイルス代替の「ネコカリシウイルス」の不活化効果試験を行っている。(表上中)

今年3月、ベトナムから帰国し、イオンモールの社長、日本ショッピングセンター協会



日本ショッピングセンター協会 副会長

岩村 康次 氏



の副会長に就いた。未曾有のコロナ禍での舵取りの重責を担うことになった。

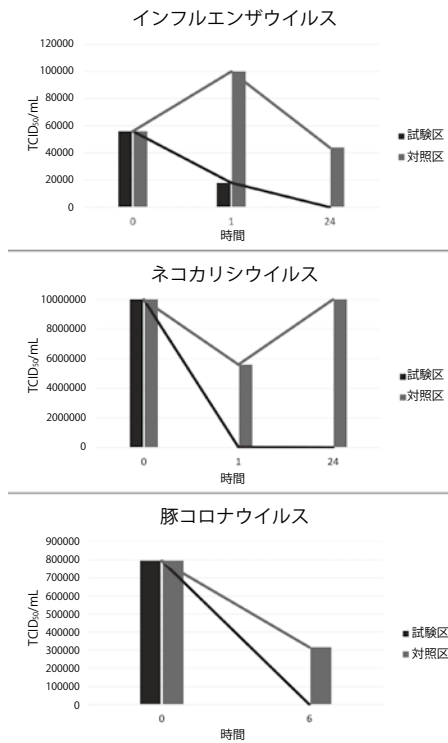
「ベトナムから帰ってきて、日本全体の概況を把握できていないかもしれないが、海外

にいる間に外部から日本をみて、可能性をはじめ様々なことを感じた。この間、コロナ禍におけるクライシスマネジメントに追われる日々だったが、改めてSCとして様々な社会問題の課題解決に貢献できる役割が大きいことを実感した。やはり地域に根差したインフ

ラとして、貢献すること、不確実性の時代において、ますます重要になると思う。そういう中で協会全体がしっかりと情報交換して、同じ目的をもって行動していくことが重要になる」

コロナ禍の危機管理に奔走

SCの社会的役割を再認識



ノロウイルス代替の「ネコカリシウイルス」の不活化効果試験を行っている。(表上中) いずれも良好な試験結果が得られていることから、今回、新型コロナウイルスに近しい豚感染性のコロナウイルス/porcine epidemic (表下) 対照区のウイルス力価について、試験開始直後から6時間後まで自然減衰がみられ、10<sup>5.9</sup>から10<sup>5.5</sup>TCID<sub>50</sub>/mLとなった。また、試験区のウイルス力価については、試験開始後6時間で10<sup>5.5</sup>TCID<sub>50</sub>/mL(99.9%減少)となった。

見直しにも取り組む。一方、イオンモールの業績は緊急事態宣言下で休業を強いられ、減収減益となった。グッズがどこにあるかというところが一番大きな問題である。しっかりとマーケティングデータに基づいて対処すると同時に、地域によって書があり、施設や立体駐車場の避難場所となった。正規の防災拠点の役割を果たすためにも、協定の締結を進める。併せて、地域の実情に合わせた営業時間の

(F)

(禁無断転載) ©R

本紙の全部または一部を無断で複写複製(コピー)することは、堅く禁じられております。本紙からの複写を希望される場合は、出版者著作権管理機構(JCOPY) (03-3513-6969)まで必ずご連絡下さい。